

“あなた”と“わたし”が認め合い

支え合う“自分らしく”輝くまちをめざして

---



“自分らしく”輝くまちは、どうしたらつくれるのでしょうか。

日本は、世界の男女格差を図る、世界経済フォーラムが公表する2021年「ジェンダー・ギャップ指数」で156か国中120位となっています。令和3年6月に実施した市民意識調査でも、社会のあらゆる場面において、未だ性別等による不平等感が残っていることがうかがえます。また、近年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ジェンダー格差がうきぼりになっています。

性別等に関わりなく、“あなた”と“わたし”が認めあい支え合うには、なにをしたらいいのでしょうか。

さまざまな、課題解消に向けて、このたび、4つの基本方針を掲げた「第3次浦添市男女共同参画行動計画（改訂版）」を策定し、令和3年10月より施行された「浦添市性の多様性を尊重する社会を実現するための条例」に基づく「行動計画」も併せて策定いたしました。本市では、ジェンダー平等と、性の多様性の尊重を標榜し、自分らしく生きることができる社会に向けて、大きな一歩を踏み出しました。

計画の遂行にあたっては、施策の目標指標を設定し、進捗評価と併せて点検し、本計画の効率的な推進を図ります。本計画で掲げた、施策の展開と諸目標の達成に向け皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

“あなた”と“わたし”のそれぞれの思いの種がまちに広がり、季節が過ぎ、やがて大きな枝を伸ばして、“自分らしく”花が咲き、輝くまちになるようお願いを込めて。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり熱心に論議し御提言いただいた浦添市男女共同参画審議会委員の皆様をはじめ、意識調査に御協力いただいた市民や事業所の皆様に心から御礼を申し上げます。

令和4年3月

浦添市長 松本 哲治